

安全データシート

作成:1997年 9月 3日

改訂:2024年 3月25日

1. 製品及び会社情報

整理番号 : K1007-11
製品名 : クミアイ機械油乳剤 95
会社名 : クミアイ化学工業株式会社
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26
担当部門 : サステナビリティ推進部 レスポンシブル・ケア推進課
電話番号 : 03-3822-5180
FAX番号 : 03-3823-6830
緊急連絡先 : 平日 午前9時～午後5時 (電話番号03-3822-5180)
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

環境に対する有害性 水生環境有害性 短期 (急性) : 区分1
水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分1

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 警告

危険有害性情報

- ・水生生物に非常に強い毒性
- ・長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き

【安全対策】

- ・環境への放出を避けること。

【応急処置】

- ・漏出物を回収すること。

【保管】

- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物、容器を国、都道府県、又は市町村の規則に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

化学名／一般名: 石油系炭化水素／マシン油

成分及び含有量: 精製マシン油 (石油系炭化水素) 95.0%
<その他> ポリオキシエチレンアルキルエーテル 1.4%

官報公示整理番号： 化審法 7-97 ポリオキシエチレンアルキルエーテル

CAS No.: 69013-19-0 / ポリオキシエチレンアルキルエーテル

4. 応急措置

眼に入った場合：直ちに清浄な流水で十分に洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。この製品は揮発性なので、蒸気を吸入しないよう注意する。

吸入した場合：被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。多量に吸入した場合は医療処置を受ける。

飲み込んだ場合：被災者を安全な場所へ移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水を与えて吐き出させる。ただし、被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

5. 火災時の措置

特有の消火方法：初期の火災には、粉末、不活性ガス消火器、乾燥砂などを用いる。大規模火災には、泡消火剤を用いて空気を遮断する。水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。

適切な消火剤：乾燥砂、膨張する石又は膨張真珠岩及び霧状の強化液、泡、二酸化炭素、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器。

使ってはならない消火剤：水

消火を行う者の特別な保護具及び予防措置：消火活動は風上から行い、有毒なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業の際には保護具(8. ばく露防止及び保護措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

環境に対する注意事項：流出した製品が河川等に多量に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる容器に回収する。大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所へ導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意：取り扱いには換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

火災・爆発の防止：周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

保管上の注意：直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。多量の危険物の貯蔵は法令による所定の貯蔵庫に類別して貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度：鉱油ミスト $3\text{mg}/\text{m}^3$ 日本産業衛生学会勧告値(2022年度)

設備対策：取り扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器を使用し、局所排気装置を併用する。

保護具 呼吸用保護具：防毒マスク(有機ガス用)

保護手袋：ゴム手袋

保護眼鏡：保護眼鏡

保護衣：作業着、帽子、保護服(不浸透性)

9. 物理的及び化学的性質

外観等 : 淡黄色透明可乳化油状液体

| | |
|---------------------|-------------|
| 臭い | : データなし |
| pH | : 6.1(参考値) |
| 融点／凝固点 | : データなし |
| 沸点又は初留点及び沸騰範囲 | : データなし |
| 引火点 | : 216°C |
| 自然発火点 | : データなし |
| 可燃性 | : データなし |
| 爆発下限及び爆発限界上限界／可燃範囲 | : データなし |
| 相対ガス密度 | : データなし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 密度及び／又は相対密度 | : 0.85(参考値) |
| 溶解度 | : データなし |
| n-オクタノール／水分係数(log値) | : データなし |
| 分解温度 | : データなし |
| 動粘性率 | : データなし |
| 粒子性状 | : データなし |

10. 安定性及び反応性

| | |
|------------|---------------|
| 化学的安定性 | : 通常の保管環境下で安定 |
| 反応性 | : データなし |
| 危険有害反応可能性 | : データなし |
| 避けるべき条件 | : データなし |
| 混触危険物質 | : データなし |
| 危険有害な分解生成物 | : データなし |

11. 有害性情報

| | | |
|------------------|--------------|---|
| 急性毒性(経口) | : 【区分に該当しない】 | ラット LD ₅₀ : >2,000mg/kg |
| 急性毒性(経皮) | : 【区分に該当しない】 | ラット LD ₅₀ : >2,000mg/kg |
| 急性毒性(吸入:蒸気) | : 【区分に該当しない】 | GHS分類上気体ではない |
| 急性毒性(吸入:ミスト) | : 【分類できない】 | データ不足 マシン油 ラット LD ₅₀ (4h): >5mg/L(基油) |
| 皮膚腐食性／刺激性 | : 【区分に該当しない】 | 刺激性なし(ウサギ) |
| 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 | : 【区分に該当しない】 | 極く軽度の刺激性(ウサギ)でありGHS基準に満たない |
| 呼吸器感受性 | : 【分類できない】 | データ不足 |
| 皮膚感受性 | : 【区分に該当しない】 | 感受性なし(モルモット) |
| 生殖細胞変異原性 | : 【区分に該当しない】 | マシン油(基油)の Ames 試験(サルモネラ菌および大腸菌):陰性 |
| 発がん性 | : 【分類できない】 | データ不足 マシン油(基油)において発がん性ありの知見なし。IARCにおいて高度精製油はグループ3(人に対する発がん性について分類されない)に分類されている |
| 生殖毒性 | : 【分類できない】 | データ不足 マシン油(基油)においてラットの発育毒性及び生殖毒性を示す結果は得られていない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | : 【分類できない】 | データ不足 マシン油(基油)の急性毒性試験で、各種特定臓器への毒性は認められていない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | : 【分類できない】 | データ不足 マシン油(基油)の経皮及び吸入投与での反復毒性試験(4週間～2年)で全身に対する影響は確認されていない。 |

誤えん有害性 : 【分類できない】 データ不足
マシン油(基油)は、GHS の危険有害性区分の判定基準である40℃で測定した場合の動粘性率が20.5mm²/s またはそれ以下の炭化水素に該当しない。

12. 環境影響情報

以下の知見から、水生環境有害性(急性)及び水生環境有害性(慢性)を【区分1】とした。

| | | | |
|--------|--------|--------------------------|-----------|
| 生態毒性 魚 | コイ | : 96時間 LC ₅₀ | 100 mg/l |
| 甲殻類 | オオミジンコ | : 48時間 EC ₅₀ | 0.10 mg/l |
| 藻類 | 緑藻類 | : 72時間 ErC ₅₀ | 29 mg/l |

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : データなし

オゾン層への有害性 : データなし

その他 : 水産動植物に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。

13. 廃棄上の注意

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

移送取扱いは丁寧に行う。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。車輛、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。消防法の定めに従う。

国連分類 : クラス9(有害性物質)容器等級Ⅲ

国連番号 : 3082(環境有害物質、液体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法、消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に従う。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第19150号

消防法 : 第4類 第4石油類(非水溶性液体) 登録番号4060-176787

労働安全衛生法 : 施行令第18条、第18条の2(表示、通知対象物質): 鉱油(政令番号168)

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) : 第一種指定化学物質 407号
ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基のC=12~15及びその混合物)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

16. その他の情報

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。

使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

引用文献: 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法

- 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
- 3) 農薬中毒の症状と治療法 第19版 2022年4月 農薬工業会
- 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)
- 5) NITE-CHRIP 有害性・リスク評価情報
- 6) 資材メーカー提供「安全データシート」

作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

| | | |
|-----------------|----------------|--------------|
| 大 阪 (年中無休、24時間) | 一般市民向け相談電話(無料) | 072-727-2499 |
| | 医療機関専用有料電話 | 072-726-9923 |
| つくば (年中無休、24時間) | 一般市民向け相談電話(無料) | 029-852-9999 |
| | 医療機関専用有料電話 | 029-851-9999 |

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。